

あそびのししぴ

缶けり

一つの地球のように

昔、広場に子どもたちが五、六人集まると、よく缶けりが始まりました。

鬼が怖くて缶から遠くに隠れる子どもや、見つかったし

まった仲間を助けるため、鬼より先に缶をけろうと近くに隠れる子どもたち。そうした子どもたちの姿を見かけなくなつて久しいですが、缶けり

の遊び場は、缶を中心として地球全体です。広い場所を舞台に、元気に遊び回る子どもたちの姿を再び眺めてみたいものです。アルミ缶での缶けりは二、三回けるとつぶれてしまうので、鉄製の缶の方が良いでしょう。



- 【人数】 4人—12人くらいまで。
【場所】 車が通らず、隠れる場所がある広場。
【道具】 鉄製の空き缶1個
【遊び方】

- ①鬼を決め、広場の中央に缶を置く場所を決めて円を描く（その中に常に缶を立てておく）。
- ②キック力のある子が缶をけて遊びはスタート。
- ③鬼は缶を拾いに行き、手を使わずに円の中に戻す。その間にその他の子は物陰などに隠れる。
- ④鬼は缶を円の中に立てたら隠れた子を捜しに行く。見つけたら本人の名前を呼んで缶を踏む。呼ばれた子はそこでアウト。名前を呼ばれても鬼より早く缶をけり飛ばせばセーフとなり、また隠れることができる。
- ⑤アウトになった人でも、誰かが缶をけると生き返ってゲームに参加でき、隠れることができる。全員、見つかるか、事前に決めていた人数が見つかった場合はゲームセット。新しく鬼を決めて二回戦の始まり。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092 (882) 0363